



好きだからこそ



なんぼ ありさ
難波 亜里咲さん
県立川越総合高等学校2年生
クラシックバレエスタジオ
ローズ所属

©イー・アイ

第14回全国ジュニアバレエコンクールジャパングランプリ2016にてジュニアB部門(女性)1位、YAGP2017ニューヨークファイナル出場という輝かしい経歴の持ち主であり、ふんわりとした雰囲気の魅力が魅力的な女子高生を紹介しします。

出会い

4歳の頃、友達と一緒にバレエ教室を見学したことがきっかけ。体の柔らかさがバレエに興味をもつ動機となったのかと思つたら「今でもまだ硬いほう。教室体験のときには一緒にいた子の中で一番体が硬かったかも」と意外な言葉。

日常

学校では友達と、テストや授業の内容について話す、一見普通の女子高生。しかし、学校が終わると、毎日夜遅くまでバレエの練習。休みたいと思わないか聞いてみると「休みたい気持ちはないわいてこない」とのこと。バレエの練習が生活の一部になっているよう。練習の原動力はと問うと、きつぽりと「好きだから」。

練習

土日の休みなく毎日練習している亜里咲さん。発表会が終わった後の、教室を休んでよい期間にも自主的に練習するほどバレエが好き。しかも、練習帰りの車の中や家でも、舞台上で踊るクラシック音楽を聴く徹底ぶり。昨年には、海外で指導を受けるため、ドイツ、イギリスに短期留学。向上心の強さがうかがえます。

発表会

お母さんによれば、発表会当日やリハーサルは楽しみなあまり、亜里咲さんの顔がにやけているのだそう。練習の成果が発揮できるのが、さぞ嬉しいのでしょう。それはきつと、毎日努力しているからこそ得られるも

のに違いありません。

8月12日に開催されたバレエコンサートでは、タンバリンや扇子を巧みに操り、優雅でしなやかに踊る亜里咲さんが観客を魅了しました。

息抜き

練習好きの亜里咲さんでも、月1回は家族と近くの温泉に行くそう。それが貴重なリラックスタイムとなっています。

今後の予定

今年10月にはユース・アメリカ・グランプリにチャレンジ予定。目指せファイナル出場！



バレリーナを目指しているあなたへ

亜里咲さんのお母さんからは「こつこつ努力したからといって結果が出るものではなく、体形や背の高さなどの条件がありますが、お客さんに喜んでもらえるバレエを踊ってもらいたいです」。亜里咲さんからは「やりたいことをやるのが大事だと思う」とのメッセージをいただきました。

取材を終えて

お母さんも亜里咲さんも謙虚で、力まず自然体。亜里咲さんは物腰がやわらかく、話していてふんわりとしたイメージでしたが、自分の好きなことにしっかり取り組んでいる充実感が漂っており、輝く笑顔が印象的でした。これからも、自分も観客も笑顔にできる、素敵なバレリーナとして活躍されることを期待しています。

編集後記

今回は学校応援団を取材しました。改めて様々な方の協力により、児童生徒の安心安全な学校生活が成り立っていることを実感しました。また、市内各地で行われたイベントを「鶴ヶ島の夏」として掲載しました(P28-29参照)。参加している皆さんの笑顔にいつも元気をもらいます。ありがとうございます！

ご意見・ご感想は秘書広報課広報広聴担当へ
✉ 10200001@city.tsurugashima.lg.jp



“男の子みただけど、私達、双子の女の子で一す!”
おおにしあやね ますお
大西彩音ちゃん・涼音ちゃん(4か月)

笑顔の天使



応募はこちら